

SE 33

***STIHL***



2 - 13      取扱説明書



## 目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	4
5	乾湿両用バキュームクリーナーの使用準備7	
6	乾湿両用バキュームクリーナーの組み立て8	
7	乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入 れる/電源を切る.....	8
8	乾湿両用バキュームクリーナーの点検.....	9
9	乾湿両用バキュームクリーナーの使用.....	9
10	作業後.....	11
11	運搬.....	11
12	保管.....	11
13	清掃.....	11
14	修理.....	11
15	トラブルシューティング.....	12
16	技術仕様.....	12
17	スペアパーツおよびアクセサリー.....	13
18	廃棄.....	13
19	製品情報.....	13

## 1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

**重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。**

## 2 はじめに

## 2.1 適用文書

現地の安全規制が適用されます。

## 2.2 本文中の警告通知



危険

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらすリスクを意味します。
  - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。



警告

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらすおそれがあるリスクを意味します。
  - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

## 注記

- この通知は、器物損壊等をもたらすおそれがあるリスクを意味します。
  - ▶ 器物損壊等は、記載された予防措置を取るによって回避することができます。

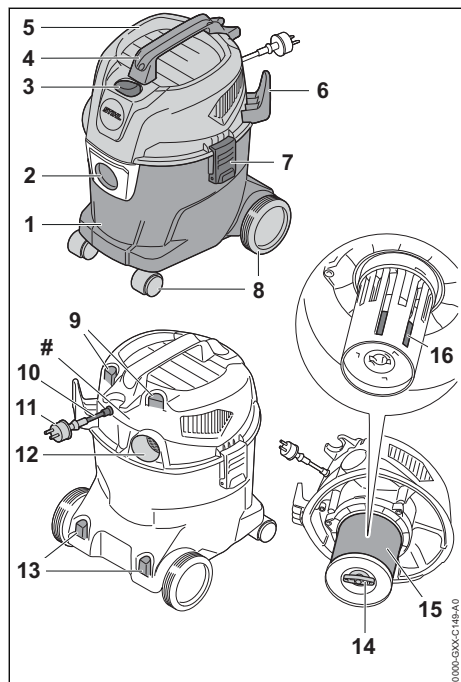
## 2.3 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

### 3 概要

### 3.1 乾湿両用バキュームクリーナー

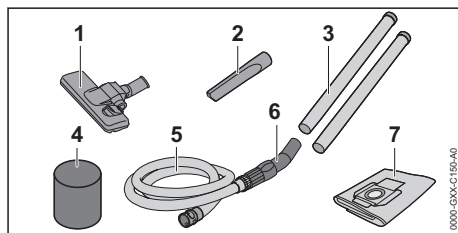


- 1 **コンテナ**  
吸引した塵埃や液体が溜まります。
- 2 **吸引コネクタ**  
吸引ホースをコンテナに接続します。
- 3 **ロッカースイッチ**  
乾湿両用バキュームクリーナーの電源をオン/オフに切り替えます。
- 4 **キャリングハンドル**  
乾湿両用バキュームクリーナーの運搬と移動用に使用します。
- 5 **トップパーツ**  
電動モーター、フィルター、フロートが収められています。
- 6 **ホルダー**  
電源ケーブルの収納用に使用します。
- 7 **ロック**  
トップパーツをコンテナに接続します。
- 8 **前後輪**  
乾湿両用バキュームクリーナーの移動と運搬用に使用します。
- 9 **ホルダー**  
ノズルの収納用に使用します。

- 10 **電源ケーブル**  
乾湿両用バキュームクリーナーを電源プラグに接続します。
- 11 **電源プラグ**  
電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
- 12 **排気口**  
ブローモード使用時に吸引ホースを接続します。
- 13 **ホルダー**  
吸引ホースの収納用に使用します。
- 14 **ウイングスクリュー**  
カートリッジフィルターの蓋を固定します。
- 15 **カートリッジフィルター**  
吸気から塵埃を濾過します。
- 16 **フロート**  
コンテナが液体で満杯になったときに、乾湿両用バキュームクリーナーの吸引力を低下させます。

## # 機械番号付き銘板

### 3.2 付属アクセサリ



- 1 **フロアツール**  
硬質フロアやカーペットフロア上の集塵に使用します。
- 2 **隙間ノズル**  
狭い場所における集塵用に使用します。
- 3 **吸引チューブ**  
吸引ホースによって吸引された塵埃や液体を運びます。
- 4 **フォームフィルターエレメント**  
液体の吸引時間を延ばします。
- 5 **吸引ホース、吸気ホース**  
吸引した塵埃や液体をコンテナへ運びます。
- 6 **グリップ**  
吸引ホースの保持と制御に使用します。
- 7 **フィルターバッグ**  
吸引された塵埃を溜め、ゴミ捨て頻度の低減に寄与します。カートリッジフィルターが目詰まりするのを防ぎます。

### 3.3 記号

乾湿両用バキュームクリーナーに表示されている記号の意味：



ロッカースイッチがこの位置のときは、電源がオフになっています。



ロッカースイッチがこの位置のときは、電源がオンになっています。



硬質フロアを清掃するときは、フロアノズルをこの位置に合わせます。



カーペットフロアを掃除するときは、フロアノズルをこの位置に合わせます。



保護等級 2、二重絶縁



本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

## 4 安全に関する重要事項

### 4.1 警告記号

乾湿両用バキュームクリーナーの警告記号の意味：



安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



取扱説明書をよく読み、理解し、保管してください。



電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合：電源プラグを電源コンセントから抜き取ってください。



乾湿両用バキュームクリーナーを雨や水分から保護してください。

### 4.2 用途

乾湿両用バキュームクリーナー STIHL SE 33

は、以下の用途向けです：

- － 塵埃、切りくず、砂等の吸引
- － 液体の吸引
- － 小石や葉の吹き飛ばし

乾湿両用バキュームクリーナーは、業務用としては適していません。

乾湿両用バキュームクリーナー STIHL SE 33

は、以下の用途には適しません：

- － アスベストの吸引
- － 病原体やかびで汚染された粉塵の吸引
- － 燃焼中の物体、熱い灰、火の付いた煙草等の吸引
- － マグネシウム粉末、アルミニウム粉末、鉛を含有する粉末等の吸引

- － ガソリン、シンナー、溶剤等の吸引
- － 酸、浸出物、アルカリ等の吸引
- － 液状油脂の吸引
- － 塩水の吸引
- － ウォーターポンプとしての使用

### ▲ 警告

- 乾湿両用バキュームクリーナーを本来の用途以外に使用すると、重傷または致命傷や物的損害の原因になるおそれがあります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは必ず本取扱説明書に従って使用してください。

### 4.3 使用者が満たすべき条件

### ▲ 警告

- 指導を受けたことのない使用者は、乾湿両用バキュームクリーナーの危険の認識や評価ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



- ▶ 取扱説明書をよく読み、理解し、保管してください。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
  - － 十分な休息を取っている。

－ 乾湿両用バキュームクリーナーを操作して作業を行うために十分な聴力と視力を有し、必要な身体的かつ精神的な適性を有している。

- － 乾湿両用バキュームクリーナーの危険を認知し、評価することができる。

－ 成人に達しているか、国の規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。

－ 初めて乾湿両用バキュームクリーナーを使用する前に、STIHL サービス店または他の経験豊富な使用者から指導を受けた。

- － アルコール類、薬剤、または麻薬等の影響を受けていない。

- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

## 4.4 衣服と装備

### ▲ 警告

- 長髪は、作業中に乾湿両用バキュームクリーナーに引き込まれるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
  - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は乾湿両用バキュームクリーナーに絡まるおそれがあります。適切な保護装備を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
  - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。
- ブロワーモードで作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 物が飛散する場合：確実にフィットする保護メガネを着用してください。European Standard(欧州基準) EN 166 または日本の基準に従って試験され、認証マークの付いた適切な保護メガネが販売されています。

## 4.5 作業エリアおよび周辺環境

### ▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、乾湿両用バキュームクリーナーの危険の認識や評価ができません。見物人、子供、動物は、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 作業エリアに子供、見物人、動物を近付けないでください。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを無人のまま放置しないでください。

## ▶ 子供が乾湿両用バキュームクリーナーで遊ばないように注意してください。

- 乾湿両用バキュームクリーナーは防水構造ではありません。雨の中または湿った場所で作業を行うと、感電することがあります。使用者が重傷を負ったり、死亡したり、乾湿両用バキュームクリーナーが損傷したりするおそれがあります。
  - ▶ 雨の中または湿っている場所では作業を行わないでください。
- 乾湿両用バキュームクリーナーの電気部品から火花が発生することがあります。可燃物や爆発物が存在する環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。それにより重傷や致命傷を負ったり、物損事故が生じたりするおそれがあります。
  - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業を行わないでください。
- 排気を吸い込むと健康に害が及び、アレルギー反応を引き起こされるおそれがあります。
  - ▶ 十分な換気を行ってください。
  - ▶ 使用国で適用されている、屋内の換気や換気回数に関する規制を遵守してください。

## 4.6 安全に関する条件

乾湿両用バキュームクリーナーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- － 乾湿両用バキュームクリーナーが損傷していない。
- － 電源ケーブル、延長ケーブル、各プラグが損傷していない。
- － 乾湿両用バキュームクリーナーが清潔かつ乾燥した状態にある。
- － 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- － カートリッジフィルターが取り付けられ、損傷していない。
- － 液体を吸引する場合：フロートが自由に動く。
- － 本乾湿両用バキュームクリーナー用の STIHL 純正アクセサリのみが装着されている。
- － アクセサリが適切に取り付けられている。

### ▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 損傷した乾湿両用バキュームクリーナーは絶対に使用しないでください。
  - ▶ 損傷した電源ケーブル、延長ケーブル、または電源プラグは絶対に使用しないでください。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーが汚れたり濡れたりした場合：清掃し、乾かしてください。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを改造しないでください。
- ▶ 操作部が正常に作動しない場合：乾湿両用バキュームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ フィルターが取り付けられ、損傷していないことを常に確認してください。
- ▶ 必ず本乾湿両用バキュームクリーナー用のSTIHL 純正アクセサリだけを装着してください。
- ▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に従って装着してください。
- ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの開口部には物を差し込まないでください。

## 4.7 操作

### ▲ 警告

- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。それにより転倒事故や落下事故が生じたり、重傷を負ったりするおそれがあります。
  - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
  - ▶ 明るさと視界が不十分な場合：乾湿両用バキュームクリーナーを使用しないでください。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは一人で操作してください。
  - ▶ 障害物に注意してください。
  - ▶ 地面に安全に立ち、バランスを保ちます。
  - ▶ 疲労を感じたときは：休憩を取ってください。
- 作業中に乾湿両用バキュームクリーナーの挙動が変化したか、異常が感じられた場合は、乾湿両用バキュームクリーナーは危険な状態になっているおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 作業を中止し、電源プラグを電源コンセントから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは直立させた状態で使用してください。
  - ▶ 冷却空気が十分に循環するよう、乾湿両用バキュームクリーナーを物で覆わないでください。
- 液体の吸引中は泡が発生することがあります。泡によってフロートが作動しなくなり、モーターに泡が吸い込まれることがあります。乾湿

両用バキュームクリーナーが損傷するおそれがあります。

- ▶ 泡が発生した場合：作業を中止し、電源プラグを電源コンセントから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。

## 4.8 電源への接続

以下が生じていると、通電部品に接触するおそれがあります：

- － 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している。
- － 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが損傷している。
- － 電源コンセントが正しく設置されていない。

### ▲ 危険

- 通電部品に接触すると、感電するおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 電源ケーブル、延長ケーブル、各プラグが損傷していないことを確認してください。



電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合：

- ▶ 損傷している部分に触らないでください。
- ▶ 電源から電源プラグを抜きます。
- ▶ 手が乾いていることを確認してから電源ケーブル、延長ケーブル、または電源プラグに触れてください。
- ▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグを適切に設置された、ヒューズの定格が正しい感電防止コンセントに接続してください。
- 損傷するか、不適切な延長ケーブルは、感電の原因になることがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 断面積が適切な延長ケーブルを使用してください、☐ 16.2。
  - ▶ 屋外用として承認された防滴型の延長ケーブルを使用してください。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源ケーブルと特性が同一の延長ケーブルを使用してください、☐ 16.2。

### ▲ 警告

- 作業中、主電源の電圧または周波数が適正でないと、乾湿両用バキュームクリーナーに過電圧が加わることがあります。乾湿両用バキュームクリーナーが損傷するおそれがあります。
  - ▶ 主電源の電圧と周波数が、乾湿両用バキュームクリーナーの銘板に記載されているデータと一致しているか確認してください。
- 複数の電動パワーツールを複数個口の電源コンセントに接続すると、操作中に電気部品に過負荷が加わることがあります。部品が過熱し、火災が発生するおそれがあります。重傷や致



命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 必ず 1 台の乾湿両用バキュームクリーナーだけを一つの電源コンセントに接続してください。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを複数個口の電源コンセントに接続しないでください。
- 電源ケーブルまたは延長ケーブルを不適切に配置すると、損傷したり、人がつまずいたりするおそれがあります。それにより負傷するか、電源ケーブルが損傷することがあります。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、つまずかない位置に配置し、ケーブルが敷設されていることを表示してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、張力が加わったり、絡まったりしないように配置してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしないように配置してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは熱、オイル、化学薬品から保護してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、乾いた面に敷設してください。
- 操作中、延長ケーブルは熱くなります。熱を逃がすことができないと、火災が生じるおそれがあります。
  - ▶ ケーブルリールを使用する場合：ケーブルをリールから完全に引き出して使用してください。

## 4.9 運搬

### ▲ 警告

- 運搬中に乾湿両用バキュームクリーナーが転倒したり、ずれたりすることがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
  - ▶ コンテナを空にし、適用される規制に従って中身を廃棄します。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは直立状態で運搬してください。
  - ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう、乾湿両用バキュームクリーナーを固定ストラップ、ベルト、またはネットで固定します。

## 4.10 保管

### ▲ 警告

- 子供は、乾湿両用バキュームクリーナーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負うおそれがあります。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを子供の手の届かないところに保管します。
- 水分によって乾湿両用バキュームクリーナーの電気接点と金属部品が腐食することがあります。乾湿両用バキュームクリーナーが損傷するおそれがあります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは、清潔な乾燥した状態で保管してください。

## 4.11 清掃、整備、修理






### ▲ 警告

- 清掃、整備、修理時に電源プラグを電源コンセントに接続しておく、乾湿両用バキュームクリーナーが偶発的に作動することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- 刺激の強い洗剤、ウォータージェットや鋭利なものを使った掃除は、湿式 / 乾式掃除機にダメージを与える可能性があります。乾湿両用バキュームクリーナーを適切な方法で清掃しないと、部品が正常に機能しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。人は深刻な負傷を負う可能性があります。
- 圧縮空気で乾湿両用バキュームクリーナーまたはフィルターを掃除すると、健康に有害な粉塵が巻き上げられ、それを吸い込むことがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーとフィルターは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- 乾湿両用バキュームクリーナーを適切に整備または修理しないと、部品が正常に機能しなくなり、安全装置が働かなくなるおそれがあります。重傷や致命傷を負う危険があります。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの整備または修理を試みないでください。
  - ▶ 電源ケーブルに不具合や損傷が生じている場合、STIHL サービス店に電源ケーブルの交換を依頼してください。
  - ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーに整備または修理が必要なときは：STIHL サービス店にお問い合わせください。

## 5 乾湿両用バキュームクリーナーの使用準備

### 5.1 乾湿両用バキュームクリーナーの使用準備

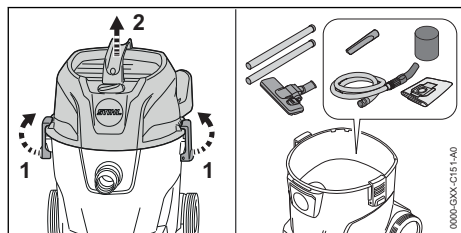
作業開始前に次の手順に従ってください：

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーと電源ケーブルが安全な状態になっているか確認します、 4.6。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを掃除します、 13。
- ▶ 吸引ホースを取り付けます、 6.2.1。
- ▶ カートリッジフィルターを点検します、 8。
- ▶ アクセサリーを使用する場合：アクセサリーを取り付けます、 6.3。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源プラグを付近の電源コンセントに差し込みます。
- ▶ 上記の作業を行うことができない場合：乾湿両用バキュームクリーナーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。

## 6 乾湿両用バキュームクリーナーの組み立て

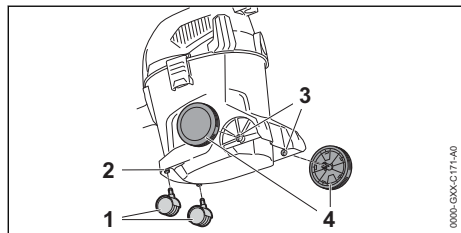
### 6.1 乾湿両用バキュームクリーナーの組み立て

付属品のアクセサリーは段ボール箱の中や、コンテナの中に収められています。



- ▶ コンテナロック (1) を解除します。
- ▶ トップパーツ (2) を持ち上げます。
- ▶ アクセサリーを取り出します。
- ▶ トップパーツ (2) を所定の位置に取り付けます。
- ▶ コンテナロック (1) を掛けます。

#### 前後輪の取り付け

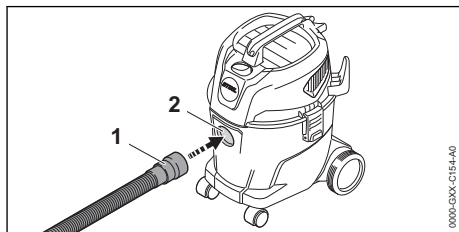


- ▶ 前輪 (1) を止まるまで台座 (2) に押し込みます。
- ▶ 後輪 (3) をまわしながら台座 (4) に押し込みます。

後輪がはまると、カチッという音がします。

### 6.2 吸引ホースの取り付けと取り外し

#### 6.2.1 吸引ホースの取り付け

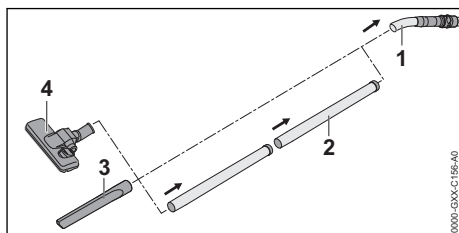


- ▶ スリーブ (1) を吸引コネクタ (2) に押し込みます。確実に着座させてください。

#### 6.2.2 吸引ホースの取り外し

- ▶ スリーブを吸引コネクタから引き抜きます。

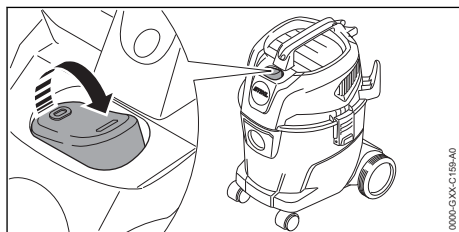
### 6.3 アクセサリーの取り付け



- ▶ 吸引パイプ (2)、隙間ノズル (3) またはフロアノズル (4) を吸引ホース (1) に取り付けます。

## 7 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れる/電源を切る

### 7.1 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れる



- ▶ ロックスイッチを I の位置にします。



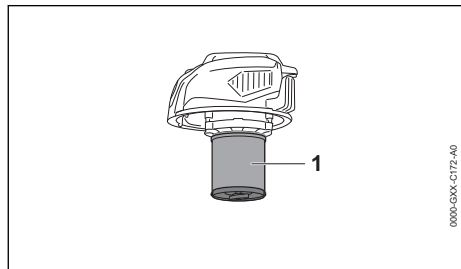
## 7.2 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切る

- ▶ ロッカースイッチを 0 の位置にします。

## 8 乾湿両用バキュームクリーナーの点検

### 8.1 カートリッジフィルターの点検

- ▶ コンテナロックを解除し、トップパーツを取り外します。



- ▶ カートリッジフィルター (1) が汚れている場合: カートリッジフィルターを掃除してください。
- ▶ カートリッジフィルター (1) が損傷している場合: カートリッジフィルターを交換してください。

## 9 乾湿両用バキュームクリーナーの使用

### 9.1 塵埃の吸引

#### 塵埃の吸引

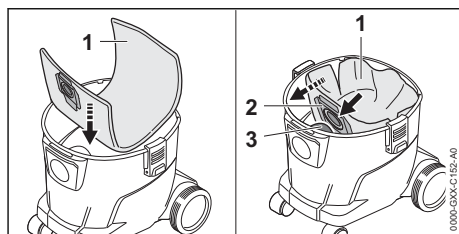
一般的な塵埃を吸引する場合は、カートリッジフィルターに加えてフィルターバッグを使用することができます。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れます。
- ▶ 片手で吸引ホースを保持し、直接または取り付けたアクセサリを通して吸引します。

#### 乾いた粉塵の吸引

乾いた粉塵を吸引する場合は、カートリッジフィルターに加えてフィルターバッグを使用してください。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナロックを解除します。
- ▶ トップパーツを持ち上げて外します。

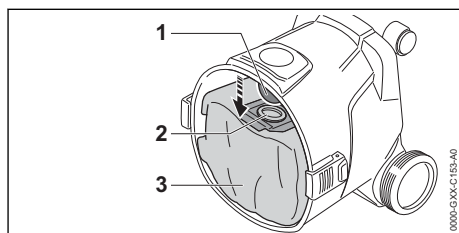


- ▶ フィルターバッグ (1) をコンテナに入れます。
- ▶ スリーブ (2) を吸引コネクタ (3) にかぶせます。
- ▶ コンテナ内でフィルターバッグ (1) を広げます。
- ▶ トップパーツを所定の位置に戻し、コンテナロックを掛けます。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れます。
- ▶ 片手で吸引ホースを保持し、直接または取り付けたアクセサリを通して吸引します。

#### わずかに湿った塵埃の吸引

わずかに湿った粉塵の吸引後、フィルターバッグを取り外し、カートリッジフィルターのみを使用します。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナロックを解除します。
- ▶ トップパーツを持ち上げて外します。
- ▶ コンテナを直立させます。



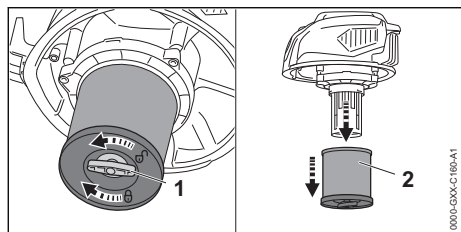
- ▶ スリーブ (2) を吸引コネクタ (1) から引き抜きます。
- ▶ フィルターバッグ (3) をコンテナから取り外します。
- ▶ フィルターバッグ (3) は適用される法規制に従い、環境に配慮した方法で廃棄してください。
- ▶ トップパーツを所定の位置に戻し、コンテナロックを掛けます。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れます。
- ▶ 片手で吸引ホースを保持し、直接または取り付けたアクセサリを通して吸引します。

## 9.2 液体の吸引

主に液体を吸引する場合：フォームフィルターをモーターハウジングにかぶせます。

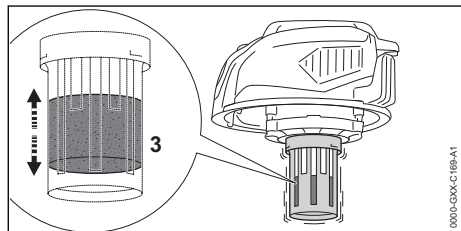
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナロックを解除します。
- ▶ トップパーツを外し、裏返します。
- ▶ フィルターバッグを取り外します。

### カートリッジフィルターの取り外し



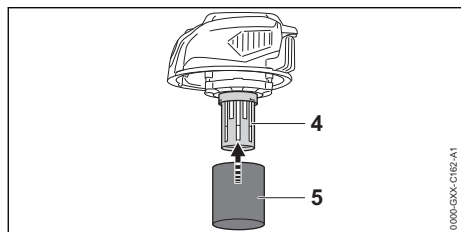
- ▶ ウイングスクリー (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ カートリッジフィルター (2) を取り外します。

### フロートの点検



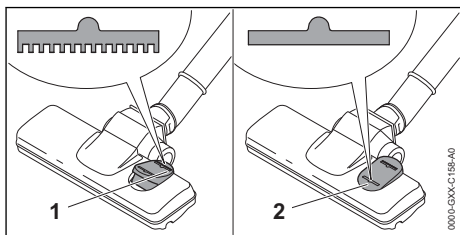
- ▶ フロートを前後に揺すります。フロート (3) が動きます。
- ▶ フロート (3) が動かない場合：フロート (3) を柔らかなブラシで掃除してください。
- ▶ 依然としてフロート (3) が動かない場合：乾湿両用バキュームクリーナーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。フロート (3) が故障しています。

### フォームフィルターの取り付け



- ▶ フォームフィルターエレメント (5) をモーターハウジング (4) にかぶせます。
- ▶ トップパーツを所定の位置に戻し、コンテナロックを掛けます。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れます。
- ▶ 片手で吸引ホースを保持し、直接または取り付けたアクセサリを通して吸引します。
- ▶ 吸引力が著しく低下した場合：乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取り、コンテナを空にします。

## 9.3 フロアノズルの使用

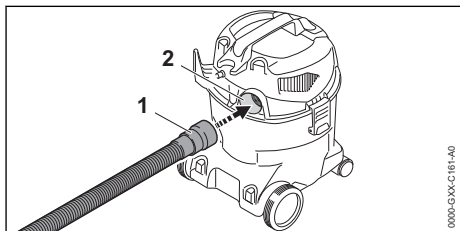


- ▶ カーペットフロアを掃除するときは、フロアノズルのロッカースイッチを (1) の位置に合わせます。
- ▶ 硬質フロアを掃除するときは、フロアノズルのロッカースイッチを (2) の位置に合わせます。

## 9.4 ブロワーの使用法

乾湿両用バキュームクリーナーは、届きにくい場所から塵埃を吹き飛ばすために使用することもできます。

- ▶ 吸引ホースを吸引コネクターから取り外します。

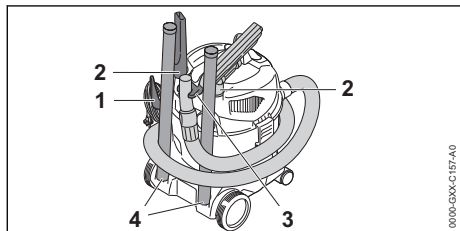


- ▶ 吸引ホース (1) を排気口 (2) に差し込みます。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を入れます。
- ▶ 吸引ホースを片手で保持し、直接または取り付けたアクセサリを通して埃を吹き飛ばします。

## 10 作業後

### 10.1 作業終了時

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナを空にします。
- ▶ アクセサリーを取り外し、掃除します。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを掃除します。



- ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、ホルダー (1) に掛けます。
- ▶ 吸引ホースを本体に巻き付け、ホルダー (3) に固定します。
- ▶ アクセサリーをホルダー (2) またはホルダー (4) に固定します。

### 10.2 コンテナを空にする

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナロックを解除します。
- ▶ トップパーツを持ち上げて外します。
- ▶ コンテナを空にし、適用される規制に従って中身を廃棄します。
- ▶ コンテナ内でフィルターバッグを使用している場合：フィルターバッグを取り外し、適用される規制に従って廃棄します。
- ▶ 液体を吸引した場合：
  - ▶ カートリッジフィルターまたはフォームフィルターを乾かします。
- ▶ トップパーツを所定の位置に取り付けます。

## 11 運搬

### 11.1 乾湿両用バキュームクリーナーの運搬

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ コンテナを空にします。

#### 乾湿両用バキュームクリーナーの運搬

- ▶ 片手でキャリングハンドルを持ち、乾湿両用バキュームクリーナーを運搬します。

### 乾湿両用バキュームクリーナーの移動

- ▶ キャリングハンドルを持ち、乾湿両用バキュームクリーナーを押して移動させます。

### 乾湿両用バキュームクリーナーの車両輸送

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーを直立状態にし、倒れたり、ずれたりしないよう固定します。

## 12 保管

### 12.1 乾湿両用バキュームクリーナーの保管

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーは、次の条件を満たすように保管してください：
  - 乾湿両用バキュームクリーナーを子供の手の届かない場所に保管する。
  - 乾湿両用バキュームクリーナーが清潔かつ乾燥した状態にある。
  - 乾湿両用バキュームクリーナーを屋内で保管する。
  - 乾湿両用バキュームクリーナーを 0 °C を超える温度下で保管する。

## 13 清掃

### 13.1 乾湿両用バキュームクリーナーとアクセサリの清掃

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーとアクセサリを湿らせた布で清掃します。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。

### 13.2 カートリッジフィルターの清掃

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーの電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。
- ▶ カートリッジフィルターを取り外します。
- ▶ カートリッジフィルターの外側から荒いゴミを取り除きます。
- ▶ カートリッジフィルターを流水で洗います。
- ▶ カートリッジフィルターを自然乾燥させます。

## 14 修理

### 14.1 乾湿両用バキュームクリーナーの修理

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーとアクセサリを自身で修理することはできません。

- ▶ 乾湿両用バキュームクリーナーとアクセサリ  
ーが損傷した場合：乾湿両用バキュームクリー

ナーとアクセサリを使用しないでください。  
STIHL サービス店にお問い合わせください。

## 15 トラブルシューティング

### 15.1 乾湿両用バキュームクリーナーの不具合解消法

不具合	原因	処置
電源を入れても、乾湿両用バキュームクリーナーが始動しない。	電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない。	▶ 電源ケーブルのプラグを電源コンセントに差し込みます。
	漏電遮断器 (ヒューズ) または過負荷カットアウト機能が働いた。回路内で電氣的な過負荷または不具合が生じている。	▶ 原因を究明し、修理します。漏電遮断器 (ヒューズ) または過負荷カットアウトをリセットします。 ▶ 同一回路に接続されている他の電気機器を切りめます。
	コンセントのヒューズ定格が低すぎる。	▶ 電源ケーブルのプラグを適切な定格のコンセントに差し込みます、  16.1。
	延長ケーブルの断面積が不適切。	▶ 断面積が十分な延長ケーブルを使用してください、  16.2。
	延長ケーブルが長すぎる。	▶ 適切な長さの延長ケーブルを使用してください、  16.2
操作中に乾湿両用バキュームクリーナーの電源が切れる。	電源ケーブルまたは延長ケーブルのプラグがコンセントから外れた。	▶ 電源ケーブルまたは延長ケーブルのプラグを差し込んでください。
	漏電遮断器 (ヒューズ) または過負荷カットアウト機能が働いた。回路内で電氣的な過負荷または不具合が生じている。	▶ 原因を究明し、修理します。漏電遮断器 (ヒューズ) または過負荷カットアウトをリセットします。 ▶ 同一回路に接続されている他の電気機器を切りめます。
	コンセントのヒューズ定格が低すぎる。	▶ 電源ケーブルのプラグを適切な定格のコンセントに差し込みます、  16.1。
	フィルタバッグまたはコンテナが満杯になっている。	▶ フィルタバッグを交換するか、コンテナを空にします。
吸引力が弱すぎる。	カートリッジフィルターが汚れている。	▶ カートリッジフィルターを掃除するか、交換します。
	コンテナが満杯になっている。フロートが働いた状態になっている。	▶ コンテナを空にします。
	吸引ホースまたはアクセサリが詰まっている。	▶ 吸引ホースまたはアクセサリを掃除します。
	コンテナが満杯になり、フロートが働いていない。	▶ コンテナを空にします。 ▶ フロートを点検します。
	泡は掃除機で吸引しています。	▶ 湿式/乾式掃除機を使用せず、STIHL のサービスディーラーで点検を受けてください。
乾湿両用バキュームクリーナーから液体が漏れ出す。		

## 16 技術仕様

### 16.1 乾湿両用バキュームクリーナー STIHL SE 33

- 定格電圧：銘板を参照
- 周波数：銘板を参照
- IEC 60335-2-2 による消費電力 (P)：1000 W
- IEC 60335-1 による最大消費電力 (P<sub>max</sub>)：1400 W

- 保護等級：II
- 保護タイプ：IPX4
- 最大吸引量：3600 l/min
- 最大吸引圧：210 mbar
- 見本の測定値
  - 長さ：340 mm
  - 幅：330 mm
  - 高さ：465 mm
- 吸引ホースの寸法：Ø 37 mm (内寸) x 2 m
- コンテナ容量 (乾燥時)：12 l

– アクセサリ装着時の重量：5.3 kg - 5.5 kg

## 16.2 延長ケーブル

延長ケーブルを使用するときは、アースリードが内蔵され、ケーブル（導体）の断面積が以下の最低要件 - 延長ケーブルの線間電圧と長さによって異なる - を満たす必要があります：

**定格ラベルに記載されている定格電圧が 220V から 240V までの場合：**

- 20 m までのケーブル長：AWG 15 / 1.5 mm<sup>2</sup>
- 20 m から 50 m までのケーブル長：AWG 13 / 2.5 mm<sup>2</sup>

**定格ラベルに記載されている定格電圧が 100 V から 127 V までの場合：**

- 10 m までのケーブル長：AWG 14 / 2.0 mm<sup>2</sup>
- 10 m から 30 m までのケーブル長：AWG 12 / 3.5 mm<sup>2</sup>

## 16.3 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、[www.stihl.com/reach](http://www.stihl.com/reach) をご覧ください。

## 17 スペアパーツおよびアクセサリ

### 17.1 スペアパーツおよびアクセサリ

**STIHL** これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

## 18 廃棄

### 18.1 乾湿両用バキュームクリーナーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

## 19 製品情報

### 19.1 乾湿両用バキュームクリーナー STIHL SE 33

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

- 製品名：乾湿両用バキュームクリーナー
- メーカー：STIHL
- 型式：SE 33
- 機械番号：SE01

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG Produktzulassung

製造年、製造国および機械番号は、機械に表示されています。



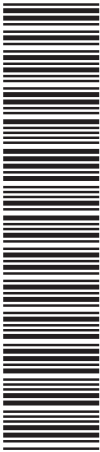




[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-889-4321-B



0458-889-4321-B